

「やらされAI活用」から脱却！ やさしい生成AI・EQ研修

中級編

AI活用と業務推進ができる人材になるための
リスキリング研修



訓練の実施目的

中級編

(今回の研修の背景)

生成AI研修は世の中にたくさんありますが、

- ・ 知識のインプットのみで使えない
- ・ ワークがステップが飛んでいて
使いものにならない・自分ごとにできない

という「**AI活用・DXのレベルのズレとやらされ感**」
がAI活用促進の妨げになっているケースが企業が多数存在しています。

訓練の実施目的

中級編

AI実務推進リーダーになること

AIの活用力とEQ力（AIを活用するために人間しか持っていない感情の力）を身につける

この目的達成のためにAIとEQの2軸で研修を設計

AI活用と業務推進ができる人材になるための
リスキリング研修です。

訓練のゴール

中級編

GOALS LIST

(初級～上級を通しての目指す姿)



EQ（やり切る・言語化・レジリエンス）を備え、
AIを業務で活用し業務効率化を推進できる人



AIは材料作り（論点・代替案・リスク）で、
判断は人間がする



自分だけでなく、周囲の生産性も底上げできる
振る舞いを目指すこと

訓練のゴール

中級編

01

初級

基礎

AI：プロンプトとセルフチェック

EQ：やり切る力、言語化力、レジリエンス

02

中級

応用

AI：入力設計とフレームワーク実装

EQ：言語化力をより高める、想像力

03

上級

実践

半自動化、他の人とのAIを使った協業

実施内容

中級編

01

プログラミング思考を学ぶ

プログラミング思考と業務分解

02

入力設計を強化する

RAG、CoT、制約条件の強化

03

フレームワーク・理論とAI

さまざまなフレームワークと掛け合わせる

- 中級- 1 AIを活用するためのプログラミング思考
- 中級- 2 入力設計を強化する
- 中級- 3 AIとフレームワークの活用方法を知る

全体674分（11時間14分）

実施内容

中級編



プログラミング思考を学ぶ

プログラミング思考と業務分解

- 研修の全体像の把握 (合計時間) 5分

中級の導入

中級のゴールの確認

実施内容

中級編

01

プログラミング思考を学ぶ

プログラミング思考と業務分解

- AI活用に必要なプログラミング思考
- AI活用の仕事術

(合計時間) 169分

プログラミング思考と業務整理

1-1 プログラミング思考とは

1-2 プログラミング思考を深める (AIを部下として動かす考え方)

1-3 目的・ゴール設定

1-4 タスク分解

1-5 条件分岐

1-6 AIプロンプト設計 (型作りで思考を構造化する)

1-7 デバック思考

1-8 プログラミング思考のまとめと実務との連携

実施内容

中級編



入力設計を強化する

RAG、CoT、制約条件の強化

- AIに学習させる力（入力設計）を学ぶ （合計時間）187分

入力設計を強化する

2-1 入力設計とは？

2-2 素材設計：RAG（ラグ）的発想

2-3-1 構造設計：構造ありとなしの比較

2-3-2 構造設計：チェーンオブソートの考え方

実施内容

中級編

03

フレームワーク理論とAI

さまざまなフレームワークと掛け合わせる

- フレームワークを活用した仕事力も上がるAI活用術

(合計時間) 89分

フレームワーク理論とAI

3-1 AIと思考フレームワークの掛け合わせ

3-2-1 フレームワーク活用①：分析の目的を決める

3-2-2 フレームワーク活用②：フレームを選ぶ

3-2-3 フレームワーク活用③：情報を用意する

3-2-4 フレームワーク活用④：AIへの指示を組み立てる

3-2-5 フレームワーク活用⑤：結果を検品して深掘りする

3-2-6 フレームワーク活用⑥：時間軸と仮説検証で実務に落とす

3-2-7 フレームワーク活用⑦：うまくいった事例を次に活かす

実施内容

中級編

03

フレームワーク理論とAI

さまざまなフレームワークと掛け合わせる

- フレームワークを活用した仕事力も上がるAI活用術

(合計時間) 115分

【実践】思考を深掘りするフレームワークとAI活用

3-3-1 思考を深掘りするための準備

3-3-2 【裏ワザ】先に知っておきたいクイック思考深掘り法

3-3-3 思考の深掘りフレームワーク①：前提の同期

3-3-4 思考の深掘りフレームワーク②：多角的にロジックを揉む4技法

3-3-5 思考の深掘りフレームワーク③：次元の飛躍

3-3-6 思考の深掘りフレームワーク④：AIの出力に感情を吹き込む

3-3-7 思考の深掘りフレームワーク⑤：思考の磨き上げ（結晶化）と行動

実施内容

中級編

03

フレームワーク理論とAI

さまざまなフレームワークと掛け合わせる

- フレームワークを活用した仕事力も上がるAI活用術

(合計時間) 109分

【実践】アイデア出しとAI活用

3-4-1 アイデアは4ステップで出る / ステップ1：問い

3-4-2 アイデア出しのステップ2-1：発散（ブレスト①）

3-4-3 アイデア出しのステップ2-2：発散（ブレスト②）

3-4-4 アイデア出しのステップ3：変異

3-4-5 アイデア出しのステップ4：収束

実施内容

中級編

(学習形態)

- e-learningによる動画視聴形式
- e-learningシステム：course baseを利用
 - 受講者1名ごとにアカウントを発行
 - PC／タブレットからオンライン受講が可能
 - 視聴状況・テスト結果など確認可能
 - 修了条件を満たした受講者には修了証を発行

学習管理を
もっと簡単、快適に。

◇ Coursebase



実施内容

中級編

 Coursebase

Coursebaseとは機能・性能コンテンツ価格導入事例FAQパートナー企業情報お問い合わせ

機能

Coursebaseの直感的でわかりやすい機能により、研修の準備から成果測定までのフローをスムーズに行えるようになります。



コースビルダー

簡単にオリジナルコースを作成できます。インストール等の手間のかかる作業は発生しません。登録締切日や合格点、キャンセル待ちなどの詳細な設定を加えることも可能です。



課題とアンケート

課題やアンケートを多彩な設問形式で作成することができます。開始日、提出期限、自動採点、ランダム出題、必須回答、自動リマインダーなど、詳細な設定を加えることが可能です。



AI機能

アップロードされた学習コンテンツ（動画、PDF、PowerPoint、Word、画像、音声等）の内容をAIが解析し、解析した内容に基づいた高精度の問題、解答、解説が自動で生成されます。



コンテンツアップロード

テキスト、画像、動画、音声、iFrame、PDF、Office関連ファイルなど様々なデータ形式のコンテンツファイルをアップロードして課題やレッスンを作成することができます。



コースライブラリ

コースライブラリを作成することで、特定の受講者に特定のコースを自主的に受講してもらうことができます。受講者人数の管理や出席管理を簡単な設定で自動化することも可能です。



組織とプロフィール

グループを作成し、グループ毎にユーザーを割り当てることで、簡単に組織を構築できます。ユーザーのプロフィールには部署や職種、入社などを自由に登録することができます。



レポートとライブビュー

カスタムレポートを作成することができます。抽出できるデータ項目は多岐に渡り、レポートは他のユーザーに共有が可能です。ライブビューでは、リアルタイムで受講状況を確認できます。



プラットフォーム APIとSSO

Coursebaseの堅牢なAPIを使って、あらゆるタレントマネジメントシステムと連携することができます。また、SSOによりログインをセキュアに簡易化することも可能です。



IPアドレス制限

IPアドレスに基づいたアクセス制限をかけることが可能です。機密性の高い情報が入ったコースにはオフィスのIPアドレスからのみアクセスを可能にするといった設定が可能です。

参照：<https://coursebase.co/>

契約期間（訓練受講可能期間）

中級編

契約期間：

- ・ 受講可能期間
アカウント発行日から1か月間
- ・ 期間内であれば、コースを何度でも
視聴・復習可能

受講料金

中級編

中級編 **400,000円 / 1名あたり** (税込)

(料金に含まれるもの)

- ・ 中級編の全動画視聴権
- ・ 動画に付随しているワークシートの利用権
- ・ コースベースLMS利用料 (月額500円/1ID)
- ・ 受講管理

(アカウント発行・進捗管理サポート)

- ・ 修了判定および修了証の発行